

県社保協 第23回総会



「大砲でなく、バターを！」

社会保障解体攻撃への対抗

安倍政権は、毎年1兆円から8千億円の社会保障の自然増を4千から5千億円も圧縮し、診療報酬や介護報酬の大幅マイナス改定、「地域医療構想」による病床削減の動きなど、社会保障の連続改善を推し進めています。今後、国保の都道府県単位化、要介護1・2の生活援助サービスを市町村事業へ移行など、改善は枚挙に暇がありません。国民の最大の要求は、医療や介護、年金、子育てなど社会保障の充実であり、税金の集め方と使い方、働き方を変えれば、消費税に頼らずとも社会保障の充実は可能です。「大砲でなく、バターを！」 反転攻勢への方策をともに探ろうではありませんか。

◆ 2016年8月20日(土)

13時30分～16時

◆ 労働福祉事業会館(旧労金ビル)

(岡山市北区津島西坂1-4-18)

〈記念講演〉(13:40～15:00)

長友 薫輝 先生 (三重短期大学教授)

「社会保障解体攻撃への対抗」

～医療保障と平和主義の一体的関係～

◆ 記念講演: 13:40～15:00

◆ 総会行事: 15:00～16:00

岡山県社会保障推進協議会

(岡山市下北区下伊福西町1-53 TEL 086-255-1140)